

22. 「(株)地域経済活性化支援機構と連携した大学発ベンチャーファンドを活用し、山陰地域における大学シーズ事業化を推進」 (山陰合同銀行、地域経済活性化支援機構)

1. 取組の概要

・2014年に山陰の国立大学法人(鳥取大学、島根大学)が保有する特許等の知財や研究成果を用いて起業・事業化する企業に対して出資する「大学発・産学連携ファンド」をそれぞれの大学向けに設立。出資及び出資後のハンズオン支援を行い、地元大学のシーズが地元で事業化され、持続的循環モデルとして確立することで地域経済の活性化に貢献することを目指す取組み。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

・当行は鳥取大学(2004年)、島根大学(2008年)と「産学連携に関する協定書」を締結し、あらゆる面で連携は行っていたものの、具体的な成果を出せない状況が続いていた。また、両大学においては、TLO(技術移転推進)機関が設立されておらず、大学シーズが事業化される機会が限られていた。このような状況を踏まえ、2014年に(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)と連携し、大学における研究開発と事業化との間の資金不足(ギャップ)を埋め大学シーズの事業化を支援する「とっとり大学発・産学連携ファンド」、「しまね大学発・産学連携ファンド」をそれぞれ設立した。

3. 具体的な取組内容

・ファンド設立後、両大学を合わせ150件を超える研究者との面談を繰り返す中で、REVICのベンチャービジネス(特に最先端分野)に対する目利き力・マーケティング力を最大限活用させて頂き、それぞれのシーズについて事業化の可能性を探った。
・出資後は、ファンドからREVIC担当者もしくは当行行員を社外取締役・社外監査役として派遣し、常駐に準じた体制で経営全般をサポートしている。
・出資に至らないシーズに対しても、事業化に向けた課題や知財戦略等を伝え、両大学内のベンチャー設立に向けた機運を高めることに貢献。

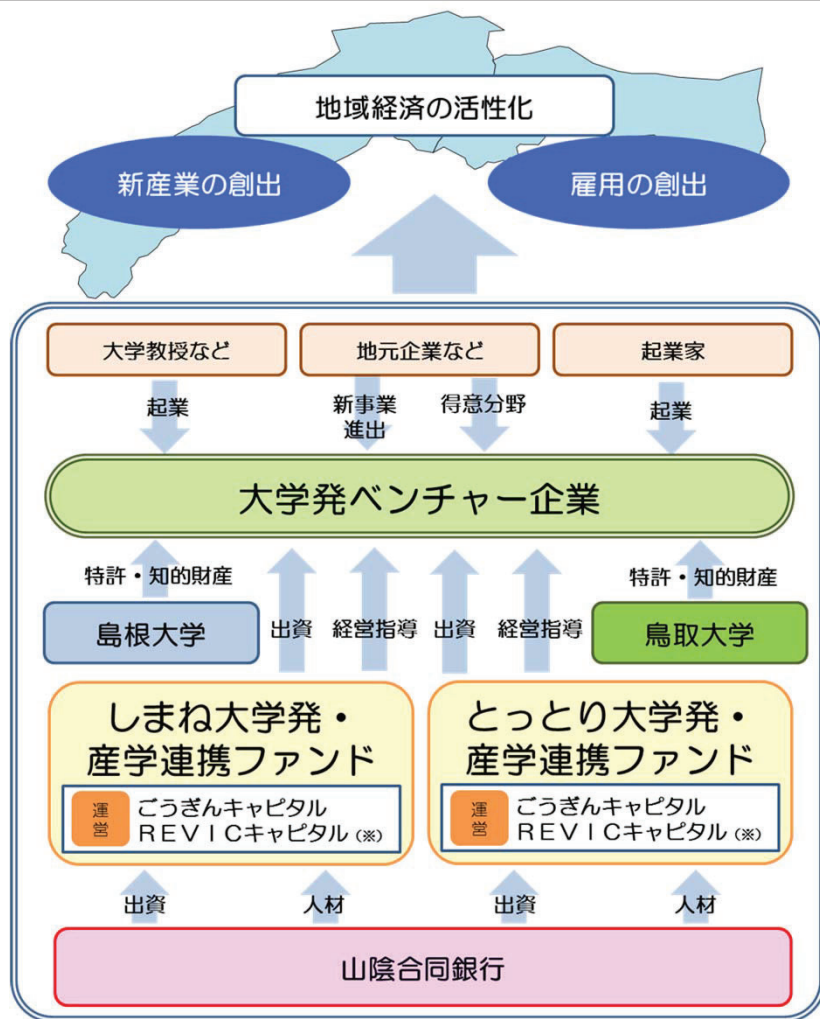
4. 実施にあたり工夫した点(関与のポイント・推進体制面・PDCAサイクル面等)

・当行地域振興部内に専担者を置き、共同GPであるREVIC、ごうぎんキャピタル(株)とともに、両大学の産学連携部門と密な関係を築くことに注力。
・GP頼みにせず、LPである弊行がイニチアシブを握り、収益性だけでなく、地域経済の活性化に資するか否かを重視した投資スタンスを堅持。
・本ファンドに、地元自治体、他金融機関等は参加しておらず、当行グループのみで設立し運営することで意思決定スピードを高めている点も特徴。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

・医療系、機械工学系、農業系など幅広い分野から、2018年12月末現在で8社が起業し、約30名の雇用を創出。
・当初目標値(各大学で3社ずつの計6社の事業化)は達成。現在も数件の出資を検討しており、最終的には累計10社程度となる見込。
・医工連携にかかるロボットベンチャー(株)MICOTOテクノロジーなど、販売実績も出始めており、研究開発のシーズをもとに地元の新たなメーカーとしての地位を確立しつつある等、地域経済に大いに寄与。
・複数の出資先に対し、大手市場企業も興味を示し始めるなど、事業化から収益化への道筋が見えつつある案件も数社あり、今後が期待される。
・地元大学との連携においては、2018年10月に選定された島根大学に対する地方大学・地域産業創生交付金の交付対象事業「先端金属素材グローバル拠点の創出ーNext Generation TATARA Projectー」において、当行も主要機関として参画するなど関係強化が一層進んでいる。

6. スキーム図等



※REVICキャピタルは株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営を行う子会社です。

ファンド概要	しまね大学発 産学連携事業 有限責任組合	とっとり大学発 産学連携事業 有限責任組合
ファンド総額	10億2,000万円	10億2,000万円
投資対象	①大学（島根大学、鳥取大学）の研究シーズを活用した新設法人 ②大学（島根大学、鳥取大学）の研究シーズを技術移転し事業化を図る既存法人	
出資者	山陰合同銀行、ごうぎんキャピタル、REVICキャピタル	
運営者（GP）	ごうぎんキャピタル、REVICキャピタル	

【2019年3月1日現在】

取組事例 バイオベンチャー企業への出資

2018年5月、島根大学発の特殊な抗体作製技術を活かしたバイオベンチャー企業に出資しました。山陰から新しい抗体治療薬が誕生することを期待しています。

出資先概要

出資先名	株式会社mAbProtein
所在地	島根県出雲市塩冶町89-1（島根大学医学部内）
代表者	代表取締役 本間 良夫（島根大学医学部 特任教授）
事業内容	島根大学医学部の研究シーズを活用した抗体を用いた研究試薬・診断薬・医薬の研究開発・製造販売
出資金額	1億5,000万円

